



そして未来へ

むらのにぎわいふたたび

「にぎわい再現！」は、町の掲げる大きな目標です。「にぎわい」は、イベントやお祭りだけのものではなく、日常生活の活気です。元気に遊ぶ子どもたちの声、お母さんたちの井戸端会議、若者が集い語り合う風景など、以前はどこでも見ることができた農村の姿です。

町では、「にぎわい再現」を実現するため、公募で集まった若者たちによるプロジェクト委員会を設立、町の将来と夢を語り合う洋上セミナー「いいで未来号」の出航やウォーキングを通じて交流の輪を広げる「てくてくらぶ」の立ち上げなど、新たなまちづくりに確かな一歩を踏み出しました。委員会が話し合いで得た一つの結論は、「にぎわいとは、課題解決への力の集結」です。その言葉は、住民パワー躍動のきざしであり、行政に依存するのではなく、町民の勇気と知恵と力を合わせて「人口減少に歯止め」をかける道をきり拓くものです。

飯豊町は今、住民手づくりの「出会い、交流、文化」を創造する新しい農村へと変貌しようとしています。



「日本で最も美しい村」連合へ

本町は、平成20年にNPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。この連合は、「フランスで最も美しい村」を手本とし、失ったら二度と取り戻すことのできない日本の農山村の景観や環境・文化を守る活動に取り組んでいます。

東北アルプスとも称され、手つかずの自然があふれる『飯豊連峰』、そこから流れ出る清流白川が肥沃な扇状地を形成し、その流域に広がる『田園散居集落』、雪国の暮らしが根づく民家や草木から得られる恩恵に感謝する草木塔がある『中津川地区の里山風景と里山文化』の3つの地域資源が認められたものです。



人と自然と文化が
奏でるシンフォニー

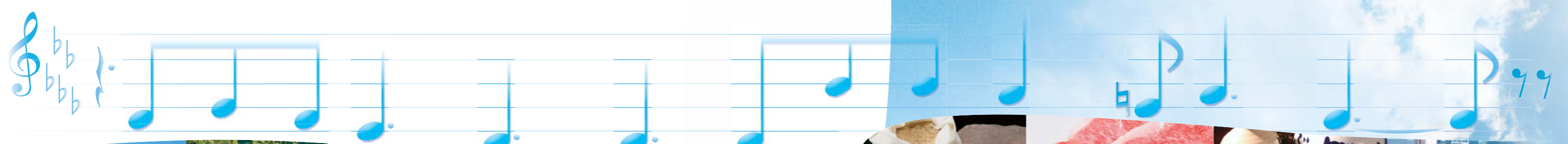
飯豊町は秀峰飯豊山のふもと

history

- 昭和33年 飯豊村に中津川村が編入合併し、飯豊町誕生
- 昭和38年 三八豪雪により米坂線28日間運休。自衛隊ヘリコプターで生活物資を中津川地区へ空輸
- 昭和39年 飯豊町の町章制定
- 昭和42年 羽越水害 住宅流失20戸、半壊34戸、橋梁流失23橋
国道113号宇津トンネル開通
- 昭和45年 白川ダム建設事業本格化
- 昭和46年 飯豊山ろく育成牧場開設
- 昭和47年 住民参加のまちづくりスタート
70集落の代表者からなる120人委員会による第1次飯豊町総合計画策定開始
- 昭和49年 飯豊町第1次総合計画策定
- 昭和53年 町の花「ゆり」、町の木「もみじ」を制定。飯豊音頭を制作
役場庁舎を槽地区に新築移転
- 昭和54年 10年の歳月を費やし白川ダム完成
- 昭和55年 自然環境活用センター「白川荘」オープン
- 昭和57年 国道113号添川バイパス完成
- 昭和61年 農業集落排水事業開始

- 昭和62年 第2次飯豊町総合計画策定
- 昭和63年 町民憲章制定
- 平成2年 添川温泉「しらさぎ荘」オープン
町民総合センター「あ〜す」完成
特別養護老人ホーム「ひめさゆり荘」開所
- 平成3年 べにばな国体「山岳競技会」が飯豊町と小国町との共催で行われる
飯豊町ふるさと定住いいですね条例制定
- 平成4年 田園散居集落景観が美しい日本のむら景観コンテスト（生産部門）で農林水産大臣賞受賞
町イメージソング「めざみ」制作
みどりのまちづくり条例制定
- 平成5年 合唱組曲「ラブリーホームタウン」制作
国道113号新宇津トンネル開通
- 平成6年 第10回農村アメニティコンクール最優秀賞受賞
- 平成7年 千葉県千倉町（現南房総市）と友好都市提携調印
- 平成8年 道の駅「いいで、めざみの里観光物産館」オープン
- 平成9年

- 平成11年 ホテルフォレストいいで、木湖里館オープン
- 平成12年 農家レストラン「エルベ」オープン
- 平成13年 第三次飯豊町総合計画策定
- 平成14年 映画「炭野行」町内にて撮影ロケ
- 平成15年 どんでん平ゆり園オープン
- 平成16年 東洋のアルカディア郷再生特区認定
県内初のデマンド交通「ほほえみカー」運行開始
- 平成17年 新飯豊橋開通
- 平成18年 健康福祉センター、介護老人保健施設「美の里」開所
いいで天文台オープン
- 平成20年 飯豊町誕生50周年
新合唱組曲「飯豊山〜我が心のアルカディア〜」発表
光ファイバー網整備。全町ブロードバンド実現
日本で最も美しい村連合に加盟
- 平成21年 いいで未来号（洋上の集い）実施
バイオマス製造施設稼働
- 平成22年 福祉事業所「でんでん」開所



飯豊連峰

標高2,105mの飯豊山を中心に連なる山々には大自然が残っています。

置賜白川

最上川の源流部であり、水清く豊富な水量で町の大地を潤しています。

草木塔

本県特有の文化遺産であり、樹木や草花を供養するもので、本町には22の草木塔が現存しています。

散居集落景観

平成5年「美しい日本の村景観コンテスト」で最高賞に輝いた景観です。

鳴砂

良質の硅砂が採掘されており、「鳴砂セット」や「かえる砂」などの特産品が開発されています。

飯豊米

清流と肥沃な大地に恵まれ、飯豊産のお米は高い評価を得ています。

米沢牛のふるさと

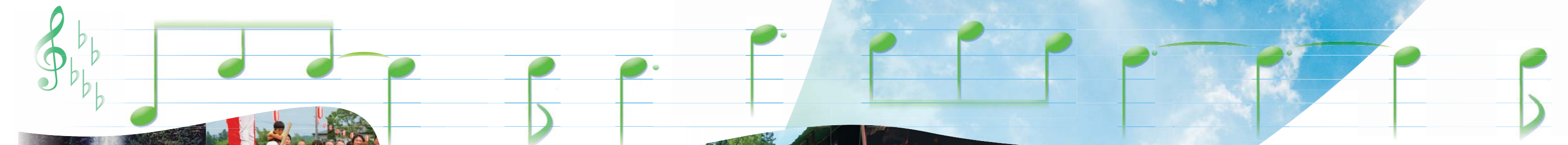
高級銘柄となっている米沢牛の約4割を本町で生産しています。

どぶろく特区

平成16年どぶろく特区の認定を受け、冬期間3施設でどぶろくを楽しむことができます。

バイオマス施設

木質バイオマス製造施設の稼働により、豊富な森林資源を活用しています。



飯豊温泉郷

町内には、いいで添川温泉・がまの湯温泉・白川温泉・広河原温泉があります。



獅子まつり

7月から9月にかけて町内16社ごとに獅子まつりが開催されます。



どんでん平ゆり園

東日本最大級の広大な敷地に150品種50万本のゆりが咲き誇る美しい花公園。



グリーンツーリズム

中津川農家民宿や農家レストランで農村の生活と味をお楽しみ下さい。



音楽からのまちづくり

町のイメージソング「めざみ」の制作から始まり、多彩な音楽イベントを開催しています。



ひまわり活動

若者有志により、ひまわりを通して環境教育・食・エネルギーを考える取り組みがなされています。



菅笠作り

山形の花笠まつりに使われる、菅笠の約8割を本町で生産しています。

町制施行50周年記念

新合唱組曲

飯豊山 ～我が心のアルカディア～

作詞：村田さち子 作曲：池辺晋一郎

上の楽譜は、合唱組曲5、飯豊山のメロディーの一部です。

Second Breeze



瞳輝くめざみっ子

就学前乳幼児から中学生まで医療費無料化等子育て支援策を充実。



高齢者も元気に

特別養護老人ホーム「ひめさゆり荘」介護老人保健施設「美の里」等高齢者がいつまでも町内で元気に暮らせる施設が充実。



障がい者との交流

福祉事業所「でんでん」の整備により、障がい者の社会参加と交流の場となっています。



きらきらドーム いいで天文台

星を見て宇宙を見て地球を知る。そして子どもたちの夢を育みます。



白鳥が訪れる町

黒沢地区内にある「めざみスワンパーク」には毎年多くの白鳥が飛来します。

